北海学園大学 学報

北海学園大学学報
発行・編集　北海学園大学
札幌市豊平区旭町４丁目
１番40号　〒062-8605
☎011(841)1161　FAX 011(824)3141
https://www.hgu.jp/
gakuho@tyhr.hokkai-s-u.ac.jp
発行日（6月1日、9月1日、12月1日、3月15日）
購読料　１部80円　年間320円
制作・印刷　株式会社人力社

北海学園大学
学報
バックナンバー

主な記事

北の大地に刻んだ70年の歴史――2面
北海学園学術研究助成事業報告⑭ 経済学部 水野谷武志教授 3面
バレンシアに学ぶ 法学部 鈴木光教授・ニューヨーク人文学部 佐藤貴史教授 4面
学園人脈記 第13回 北海道文化放送報道スポーツ局報道情報部 山口英里子氏 5面
経営学部1年生のためのリモートサポート 6面
新大学院研究科長に聞く！――7面
入試インフォメーション――8面

北海学園大学創基七十年を祝して

北海道とともに歩んだ軌跡をたどり未来につなげる

本学は今年度、北海短期大学設置から数えて七十年を迎えた。安酸学長から七十年を振り返るとともに、創基百年への展望を聞いた。

学長　安酸（やすかた）敏眞（としまさ）

逞しく生きる若者の育成を目指して

わが北海学園大学は本年創基七十年を迎えました。七十年といえば、人間では古稀に相当します。これは読んで字のごとく、唐の詩人杜甫の曲江詩中の「人生七十古来稀」に由来します。いまでは「人生百年」などと言われますので、七十歳は老年のまだ序の口程度のものです。ちなみに、昨年度の統計資料によれば、七十歳以上の国民は二七一五万人いるそうで、これは総人口一億二六一七万人の21・5パーセントを占めるということです。超高齢化社会といわれるゆえんです。

ところで、七十年以上の歴史をもつ大学は幾つあるでしょうか。現在わが国には国公私立合わせて七七四の大学があります。一番古いのが東京大学の前身の東京帝国大学で、創立は一八七七年です。その後、帝国大学や官立・公立・私立の大学が順次誕生して、太平洋戦争終結時には、合計四十八の大学（国立十八校、公立二校、私立二十八校）が存在していました（ただし、外地を除く）。戦後その数は増えて、一九五二年までにさらに一五八の新たな大学が出現しました。本学はさしずめ二〇七番目に生まれた大学ということになります。

北海学園大学は正式には一九五二年に産声を上げました。しかし短期大学は二年前の一九五〇年に設立されています。そしてその卒業生が四年制大学の誕生とともに三年生に編入学したので、一九五四年には第一回の卒業式を挙行しています。こうした事実に鑑みて、現在では一九五〇年をもって本学の創基元年としているわけです。本年はそこから数えて七十年目にあたります。本学の設立を一九五〇年と見なせば、それ以前に存在していた大学は、合計一八八校ですので、その観点からは本学は一八九番目に誕生した大学であるという見方も可能です。北海道最古の私立大学とはいえ、これでは老舗大学とは呼べませんね。

しかし別の角度から考察すると、それとはまったく違った景色が見えてきます。先ほど日本で一番古い大学は東京帝国大学だと申しましたが、実は北海道大学の前身である札幌農学校はその前年の一八七六年に、日本初の学士授与機関として農学校について記すかといえば、北海学園大学は札幌農学校と非常に深い縁があるからです。学校法人北海学園は、一八八五年に設立された北海英語学校を起源としていますが、この学校を設立したのは札幌農学校の三期生の大津和多理です。札幌農学校の一期生には北大初代の総長の佐藤昌介がいますし、二期生には新渡戸稲造、内村鑑三、宮部金吾、廣井勇、町村金弥などがいます。三期生の大津はこうした偉大な先輩たちから大きな感化を受けたはずです。つぎに北海中学校と札幌商業学校の校長を務めた戸津高知は、北海英語学校を経て札幌農学校に入学し、一八九八年に第十六期生として札幌農学校を卒業しています。さらに北海学園大学の初代の学長を務めた上原轍三郎は、一九〇五年に札幌農学校に入学しました。しかし途中で校名が東北帝国大学農科大学に改変されたため、一九一二年に卒業したときには、東北帝国大学農科大学卒となっています。以上のことから、北海学園大学が札幌農学校と深い関係があることがわかると思います。

ところで、学校法人北海学園が大津和多理の設立した北海英語学校に由来するということは、北海学園大学のルーツが一八八五年に遡るということです。その古さを例示するために申しますと、法政大学は一八八〇年設立の東京法学社に、明治大学は一八八一年設立の明治法律学校に、早稲田大学は一八八二年設立の東京専門学校に、中央大学は一八八五年設立の英吉利法律学校に、日本大学は一八八九年設立の日本法律学校に由来しています。北海学園大学は、少なくともそのルーツにおいては、東京の代表的な老舗大学と遜色がありません。本学の大学設立が、本州の有力な私立大学に大きく後れを取ったのは、あくまでも北海道の地理的辺境性と、その人的・経済的・社会的自然環境的要因によるものです。

本学の七十年の歩みも決して平坦ではなかったはずです。創基元年の一九五〇年は、終戦後五年経っていたとはいえ、復興というにはほど遠い現実があちこちにあり、しかも新たに朝鮮戦争が勃発した年でもありました。そういう状況下での大学の設立は、よほどの覚悟と使命感がなければできなかったことでしょう。また、たとい覚悟と使命感があったとしても、資金力、人材の確保、学生募集、施設の充実など、幾多の困難が横たわっていたに相違ありません。そうした創立当初の先人のご苦労は、『北海学園大学三十五年史小史』に詳しく記されています。今般刊行された『北海学園大学七十年記念誌』は、後半の三十五年間の軌跡を、写真や記録や証言などを駆使して生き生きと描き出しています。この二冊を併せ読むと、北海学園大学の七十年の歩みが明確な輪郭をもって浮かび上がってきます。

わたしは山陰の生まれで、本学に着任してわずか十七年ほどですので、古い時代については承知していないことが沢山あります。しかし一九五二年生まれですので、時代的には大学の歴史と自分の人生がほぼ重なり合います。まだ貧しかった日本の五十年代、六四年の東京オリンピック開催と新幹線の開通、七〇年の大阪万博、六〇年代末から七〇年代後半まで全国に吹き荒れた学生運動などが、前半の三十五年間の主要な社会的トピックを形づくっています。後半の三十五年間は、まさにバブル景気から始まって今般の新型コロナウイルスの世界的流行までをカバーします。北海学園大学はこの間に飛躍的な発展・拡大を遂げましたが、目下大きな転換期に差し掛かっています。

問題は、いかなるビジョンを掲げて創基百年に向けて歩を進めるかです。将来の青写真を描いて全員でその夢を共有できるようにすることが、学長に課された課題だと考えています。コロナ以後の日本は、東京一極中心とは逆方向に振り子が振れ、とりわけ北海道の重要度が高まる時代になると思います。かかる時代に北海道の自然・歴史・文化に深く根ざしながら、アフターコロナの時代を逞しく生きる若者を育成していきたいと祈念しています。

▲北海学園大学豊平キャンパス

◀山鼻キャンパス

◆写真提供
・北海学園大学卒業アルバム
・北海学園大学同窓会
・北海学園大学各部局

現代中央アジア　政治・経済・社会
宇山智彦・樋渡雅人 編著／菊田悠（経済学部准教授）ほか共著
ウズベキスタン共和国、カザフスタン共和国、クルグズ共和国、タジキスタン共和国、トルクメニスタン。新生独立国家としての自立と経済的豊かさへの道を模索している中央アジア諸国を分析。
定価（本体 三、四〇〇円＋税）
日本評論社

北海道の業界地図
北海学園大学経営学部佐藤大輔ゼミ×北海道新聞社 編著
北海道の業界がまるまるわかる就活生必読の書。道内47業種約2千社の企業規模や資本関係を詳細な図で解説。学生目線の経営者インタビューや、IT企業で働く女性社員の座談会も収録。
定価（本体 一、五〇〇円＋税）
北海道新聞社

刑事法入門
神元隆賢（法学部教授）・飯野海彦（同教授）・瀬川行太（同准教授）著
法学部に入学したばかりの学生を対象に、刑法、刑事訴訟法、刑事政策の概要やそれぞれの法分野の思考方法の違いなどを解説。定期試験を想定して各章の冒頭にQuestion、末尾にヒントを置いている。
定価（本体 二、五〇〇円＋税）
一学舎

Researching Agency in Language Policy and Planning
Jeremie Bouchard（人文学部准教授）, Gregory Paul Glasgow 編著
5つの国の事例から言語政策と計画における7つの研究を取り上げる論集。言語ポリシーと計画、言語と教育、批判的な社会言語学、応用言語学などを論じる。
定価 $120
Routledge

Agency in Language Policy and Planning: Critical Inquiries
Jeremie Bouchard（人文学部准教授）, Gregory Paul Glasgow 編著
さまざまな国の事例から言語政策における民族誌学的アプローチによる研究をまとめた論集。言語とアイデンティティ、言語イデオロギー、教育における言語的多様性、言語の活性化などを論じる。
定価 $115
Routledge

相対論と宇宙の事典
安東正樹・白水徹也 編集幹事／前田秀基（工学部教授）他共著
重力波の観測を受け、さらなる発展と応用が期待される相対論。その理論と実験・観測の両面から重要項目約100を取り上げた事典。専門外でもわかりやすく、歴史的なトピック等も紹介。
定価（本体 一〇、〇〇〇円＋税）
朝倉書店

土に贖う
河崎秋子（経済学部平成13年度卒・49期生）著
北海道を舞台に描かれた短編小説7編。可能性だけにかけ、挑んだ男たちを峻烈に描破する。第39回新田次郎文学賞受賞。第33回「三島由紀夫賞」の候補にもなっている話題作。
定価（本体 一、六五〇円＋税）
集英社

北海学園大学創立 70 周年

北の大地に刻んだ70年の歴史

■学校法人北海学園　年譜（抄）

北海英語学校

明治	18年（1885）	札幌区南2条西1丁目に北海英語学校設立（認可）。校長・大津和多理、校主・小平元労氏。開校式（3.15）、生徒140余名、英語学科
	20年（1887）	北4条西1丁目旧巡査合宿所に移転、寄宿舎を置く。道庁理事官・浅羽靖、校長に就任、校主兼務
	21年（1888）	漢学科設置。寄宿舎（北4条西1丁目）を置く
	22年（1889）	校舎落成（北4条西1丁目）、札幌農学校志願者のために受験予備科（撰科）設置
	23年（1890）	数学科設置
	26年（1893）	商業夜学科開設
	27年（1894）	南大通西4丁目の旧町会所に校舎移転。校舎新築（同所）
	28年（1895）	校舎移転開校式、高等専修科設置
	34年（1901）	道庁認可の3年制中学部を設置、入学式挙行（5.16）、4学級159名入学。この日をもって「開校記念日」とする。校長・浅羽靖、教頭・戸津高知
	35年（1902）	中学校校舎増築（南5条東2丁目・旧豊水小学校）
	37年（1904）	浅羽靖校長、衆議院議員選挙に当選。中学校に補修科を設置

私立北海中学校

明治	38年（1905）	私立北海中学校（5年制）認可
	39年（1906）	第1回卒業式（卒業生14名）、制服・制帽制定。豊平の現在地に3万1400坪の校地購入
	40年（1907）	北海英語学校夜学部校舎、札幌大火の類焼により全焼（南大通西4丁目）
	41年（1908）	豊平校舎起工、完成。教室2棟、雨天体操場470坪
	42年（1909）	豊平校舎落成式
	44年（1911）	皇太子殿下行啓。北駕文庫設立

財団法人私立北海中学校

大正	3年（1914）	財団法人私立北海中学認可。校長・浅羽靖逝去（10.22）
	4年（1915）	校長・戸津高知就任
	5年（1916）	北駕文庫増築（石造2階）、同文庫閲覧室（記念館）木造平屋竣工

財団法人北海中学校

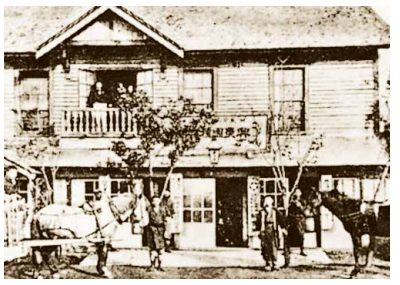
大正	9年（1920）	財団法人北海中学校認可。北海中学校に加え札幌商業学校認可・設置（校長・戸津高知就任）
	12年（1923）	理事長・浅羽一郎就任。札幌商業学校第1回卒業式、独立校舎及び雨天体操場竣工
	13年（1924）	理事長・橋本左五郎就任
	15年（1926）	浅羽靖胸像除幕式

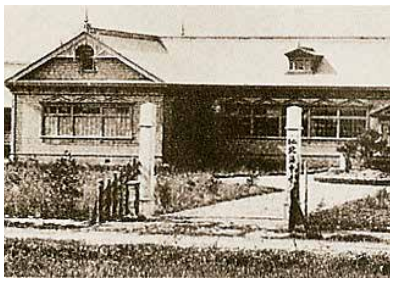
財団法人苗邨学園

昭和	8年（1933）	財団法人苗邨学園と改称
	13年（1938）	理事長・戸津高知就任
	14年（1939）	行啓記念碑除幕式
	16年（1941）	清田に学校林造成地取得（現・清田総合運動場）
	19年（1944）	札幌商業学校募集停止、札幌豊陵工業学校設置認可
	20年（1945）	札幌商業学校募集再開認可
	23年（1948）	理事長・佐藤吉蔵就任。北海高等学校（併置中学校）、札幌商業高等学校・札幌豊陵工業高等学校（併置中学校）設置認可。両高等学校校長・金巻賢字就任。（昭和30年）札幌豊陵工業高等学校・併置中学校廃止

財団法人北海学園

昭和	24年（1949）	既設経営校、北海高等学校（併置中学校）、札幌商業高等学校・札幌豊陵工業高等学校（併置中学校）に加え、［各種学校］札幌北海学院を開設、学院長・山内繁雄就任。（経済学部・経済学科、商業学科。法文学部・法政学科、英文学科。工学部・殖産工学科、土建工学科）札幌北海学院開学式（8.6）。（昭和25年）北海短期大学創設（設置）にともない、札幌北海学院の学生募集停止（廃止）


設立当時の北海英語学校


北海中学校（1908・明治41年）

■北海短期大学・北海学園大学

財団法人北海学園

昭和	25年（1950）	北海短期大学設立認可（第一部経済科・第二部経済科）　3.14 北海短期大学初代学長、上原轍三郎就任、4.1 北駕文庫を基礎に「北海学園図書館」付置、4.28 北海短期大学第1回入学式（一部経済科125名・二部経済科211名）、9.27 北海短期大学開学式、11.1 学生新聞「北海学園短期大学」創刊

学校法人北海学園

昭和	26年（1951）	法令改正により財団法人から学校法人北海学園に改称
	27年（1952）	北海学園大学（4年制）経済学部一部経済学科開設　北海短期大学経済科第一部募集停止　3.5 初代学長・上原轍三郎就任（北海短期大学長）、3.31 北海短期大学第1回卒業式（一部経済科89名・二部経済科145名）、4.21 北海学園大学第1回入学式（一部259名）、10.13 北海学園大学校旗制定「入魂式」、10.18 北海学園大学開学式
	28年（1953）	北海短期大学経済科第一部廃止　経済学部二部経済学科開設　9.1 経済学部紀要「経済論集」創刊、不詳「学生歌」制定（作詞・吉本直之、作曲・横沢寛）、10.第1回十月祭（大学祭）、10.16 図書館棟完成（現・学芸員養成課程実習棟）
	29年（1954）	3.7 北海学園大学第1回卒業式（一部66名）、4.1 北海短期大学経済科第二部　中・高教職免許状取得課程認可、4.1 経済学部一・二部　中・高教職免許状取得課程認可、5.1 学生寮「誠之寮」開設（豊平3条西13丁目）
	30年（1955）	1.17 大学校舎・第1号館竣工、6.2 第1回・一部対東北学院大学総合定期戦開催（札幌）
	31年（1956）	5.1 学長・上原轍三郎、理事長就任、6.5 学術研究会紀要「学園論集」創刊（教養部）
	32年（1957）	4.1 開発研究所開設
	33年（1958）	5.1「学歌」制定（作詞・三森定男、作曲・大築邦雄）
	34年（1959）	8.1 札幌岳「冷水小屋」「中山小屋」管理運営開始、6.29 第1回・文化協議会「地方公演」、7.13 第1回・司書講習会開催（文部省委嘱）受講生156名
	37年（1962）	北海短期大学土木科一部、二部開設（南26条西11丁目）　2. 小体育館竣工（旧武道館）、9. 学生寮「誠之寮」山鼻校地内（南26条西11丁目）に移転
	38年（1963）	11. 大学校舎・第2号館竣工、4. 在外研修制度発足
	39年（1964）	法学部一部法律学科、二部法律学科開設　4.1 機構改革（経済学部・法学部・教養部、短期大学部）、全学教授会、大学協議会を設置
	40年（1965）	北海短期大学を北海学園大学短期大学部に改称　3.31 開発研究所紀要「開発論集」創刊、4.1 法学部一・二部　中・高教職免許状取得課程認可、11. 大学校舎・第3号館竣工
	41年（1966）	経済学部一部経営学科、二部経営学科開設　短期大学部経済科第二部募集停止　3.30 法学部紀要「法学研究」創刊、4.1 経済学部一・二部経営学科　中・高教職免許状取得課程認可
	43年（1968）	工学部土木工学科、建築学科開設（南26条西11丁目）、短期大学部経済科第二部廃止、短期大学部土木科第一部・第二部募集停止　6.1 理事長・学長上原轍三郎、名誉学園長に就任、6.1 第2代目学長・高倉新一郎就任、7.15「北海学園大学学報」創刊、7.31 大学校舎・体育館竣工、11.12 大学校舎・附属図書館竣工（現・研修施設棟1）、11.12「就職資料室」開設
	44年（1969）	短期大学部土木科第一部・第二部廃止　4.30 小体育館竣工（旧武道館）、9. 大学工学部校舎・第1号竣工
	45年（1970）	大学院経済学研究科経済政策専攻修士課程開設　4.1 経済学研究科　中・高教職専修免許状取得課程認可、経済学部経済学科・経営学科一・二部、法学部一・二部に図書館学課程（司書・司書教諭）資格取得課程開設
	47年（1972）	2.20 工学部紀要「工学部研究報告」創刊、10.第1回「工学祭」
	48年（1973）	4.13 学生寮「珠匣寮」開設（東区栄町455）、6.30 厚生施設・北海学園学園会館竣工
	51年（1976）	11.6 第1回「キャンパス緑化・散策路記念植樹」、5.第1回「学生懸賞論文創作コンテスト」募集・応募作15編、5. 第1回「教養部スポーツ大会」開始
	54年（1979）	5.10 図書館「図書館だより」創刊、不詳 大学校舎・工学部材料実験棟竣工、11.8 大学校舎・第4号館竣工（研究室棟）
	55年（1980）	7.3 第3代目学長・大和哲夫就任
	56年（1981）	3.21 第2代目学長高倉新一郎、名誉学長に就任、4.1 工学部土木・建築学科 図書館学課程（司書）資格取得課程開設、4.1 教養部「カナダ研究コース」開設
	57年（1982）	4.1 外国人研修「第1次研究員」着任（中国・内蒙古自治区政府派遣）、6.30 大学校舎・第2体育館（部室棟）竣工、8. 第1回・二部対東北学院大学総合定期戦開催（札幌）
	58年（1983）	2.10 入学試験・東京会場開設、3.31「課題と評価」創刊、12.8 大学校舎・文化系部室棟竣工、12.25 大学校舎・工学部実験実習棟竣工
	59年（1984）	7.3 第4代目学長・田中修就任
	60年（1985）	4.1「教育用コンピュータ実習室」開設、9.28 学校法人北海学園創基百周年記念式典（大学創立35周年）
	61年（1986）	大学院法学研究科法律学専攻修士課程開設　2.25 北海学園大学創立35年小史刊行、4.1 法学研究科　高教職専修免許状取得課程認可、5.31 清田校地（総合運動施設）造成完了、8. レスブリッジ大学との学生交換事業開設、第1回本学学生派遣
	62年（1987）	工学部電子情報工学科開設　2.25 新図書館「図書館・研究資料棟」竣工、3.20 大学校舎・工学部第2号館竣工、4.1 法学部一部「指定校推薦制度」開設、10.2 学生歌「北の都」制定（作詞・吉沢史祝、作曲・彩木雅夫）
	63年（1988）	3.15 大学校舎・第5号館竣工
平成	元年（1989）	4.1 経済学部二部・社会人特別入試制度導入、4.1 電子情報工学科　図書館学課程（司書・司書教諭）資格取得課程開設
	3年（1991）	大学院工学研究科建設工学専攻・電子情報工学専攻修士課程開設　4.1 大学院経済学研究科・法学研究科修士課程中教職専修免許状取得課程認可
	4年（1992）	大学院法学研究科法律学専攻博士（後期）課程開設　4.25 第5代目学長・坂上孝幸就任
	5年（1993）	人文学部一・二部日本文化学科、一・二部英米文化学科開設　3.26 放送大学と単位互換に関する協定締結、11.30 人文学部紀要「人文論集」創刊
	6年（1994）	4.1 工学部土木工学科・建築学科・電子情報工学科　中・高教職免許状取得課程認可、人文学部一・二部日本文化学科・英米文化学科　中・高教職免許状取得課程認可、人文学部一・二部日本文化学科・英米文化学科　図書館学課程（司書・司書教諭）資格取得課程開設、大学院工学研究科建設工学・電子情報工学専攻修士課程　中・高教職専修免許状取得課程認可、4.10 人文学部「人文フォーラム」創刊、10.14 地下鉄「東豊線」開通
	7年（1995）	大学院経済学研究科経済政策専攻博士（後期）課程、大学院工学研究科建設工学専攻・電子情報工学専攻博士（後期）課程開設　5.31 地下鉄関連校舎（大学院・研究所棟）竣工
	8年（1996）	4.26 第6代目学長・柴田義人就任、11.25 第7代目学長・熊本信夫就任
	10年（1998）	4.1 教育改革により「教養部」廃止、11.20 大学校舎・工学部課外活動・厚生施設棟竣工
	11年（1999）	法学部一部政治学科、二部政治学科開設　法学部一部法律学科編入学（第3年次）開設　法学部一部政治学科編入学（第3年次）平成13年度開設　大学院文学研究科日本文化専攻修士課程開設　2.20 大学校舎・ハイテクリサーチ・学術フロンティア・工学研究所棟竣工、3.31「北海学園大学学報」再刊
	12年（2000）	大学院経営学研究科経営学専攻修士課程開設　1.15 大学入試センター試験導入、法学部一部、人文学部一部及び工学部、4.1 全学部一部・二部全学科に日本語教員養成課程単位取得課程開設、大学院経営学研究科経営学専攻修士課程に高等学校教諭専修免許状取得課程開設、4.3 北海道大学大学院経済学研究科と本学大学院経営学研究科との間で単位互換協定締結、4. インターンシップ制度導入、11.18 北海学園大学創立50周年記念祝賀会挙行、『北海学園大学創立50周年記念　記念資料』刊行
	13年（2001）	大学院文学研究科日本文化専攻博士（後期）課程開設　8.24 大学院法学研究科と東北学院大学大学院法学研究科との間で単位互換協定締結
	14年（2002）	北海学園大学大学院経営学研究科経営学専攻博士（後期）課程開設　3.1 大学院経済学研究科と札幌大学大学院経済学研究科、北星学園大学院との間で単位互換協定締結
	15年（2003）	経済学部一部・二部地域経済学科開設、経営学部一部・二部経営学科、一部経営情報学科開設、大学院法学研究科政治学専攻修士課程開設、大学院文学研究科英米文化専攻修士課程開設	4.1 北海学園大学工学部ハイテク・リサーチセンター整備事業（視角・画像・音声・言語情報処理の高度化と知的計測制御技術への応用）開始、2008（平成20）年3月まで、8.『Passages』（経営学部報）創刊
平成	16年（2004）	1.20 二部経済学部・経営学部・人文学部と東北学院大学夜間主コースとの間で単位互換協定締結、6.12 仙台にて対東北学院大学定期戦第50回記念大会開催（～14日）、6. 第1回高大連携授業実施、7.26 夏季休業前の1学期定期試験実施、工学部は23日から、10.23 同窓会（豊平会）創立50周年記念式典挙行
	17年（2005）	北海学園大学大学院法学研究科政治学専攻博士（後期）課程、文学研究科英米文化専攻博士（後期）課程開設、大学院法務研究科法務専攻専門学位課程（法科大学院）開設、工学部土木工学科を社会環境工学科に名称変更　2.11 法学部で学部統一入試実施（～12日）、4.1 朝倉利光第8代学長就任
	18年（2006）	4.1 共通教育・研究センターを教務センターに改組、8. 法務研究科棟竣工、豊平6条6丁目
	19年（2007）	2.9 入学試験旭川会場、帯広会場を開設（～12日）、4.1 工学部社会環境学科に社会環境コースと環境情報コース、電子情報工学科に人間情報コースと電子情報コース開設
	20年（2008）	4.1 工学部ハイテク・リサーチセンター整備事業（電磁・光センシングを主体とする生体関連情報の先進的計測・処理技術の開発と応用）開始、2013（平成25）年3月まで、9.30 初の9月期卒業証書・学位記授与式挙行、10.11 同窓会主催第1回ホームカミングデー実施、第2回目以降は大学と同窓会の共催
	21年（2009）	6.21 帯広会場での保護者懇談会開催、次いで、旭川会場（7月5日）、函館会場（7月12日）
	22年（2010）	9. CALL教室開設、10.1 ポータルサイト・学生総合支援システムG-PLUS!開設
	23年（2011）	3.15 大学院法学研究科と北海道大学大学院工学院との間で単位互換協定書締結、4.1 木村和範第9代学長就任、4.1 共通教育カリキュラムから一般教育カリキュラムに変更
	24年（2012）	工学部生命工学科開設　2.9 経済学部で学部統一入試実施（～10日）、4.1 就職部からキャリア支援センターに名称変更、6.『ヒューマン』（人文学部新学部報）創刊
	25年（2013）	4.15 工学部生命工学科の開設に伴い3号館を2階建てから5階建てに増築、7.26「実験生物に感謝する日」第1回式典挙行、8.22 学校法人北海学園と北海道との間で包括連携協定締結、12.19 教育振興会から初の奨学金給付、奨学金C（留学生対象）4名
	26年（2014）	4.1 地域連携推進機構発足、10.25 同窓会（豊平会）創立60周年記念式典挙行
	27年（2015）	1.28 経済学研究科と北海商科大学大学院商学研究科との間で単位互換協定締結、3.6 経済学研究科と北海道大学大学院農学院との間で単位互換協定締結、7.7 同窓会による初の奨学金給付
	28年（2016）	北海学園大学大学院工学研究科電子情報工学専攻修士課程が電子情報生命工学専攻修士課程に改組転換　3. 2015（平成27）年度私立大学等改革総合支援事業により、アクティブ・ラーニング施設等を整備
	29年（2017）	2.9 入学試験盛岡会場開設（～12日）、青森会場廃止、3.30 経営学部と株式会社AIRDOとの間で教育連携協定締結、4.1 安酸敏眞第10代学長就任、4.1 大学院法務研究科募集停止、11.9 人文学部と北海商科大学商学部との間で単位互換協定締結
	30年（2018）	北海学園大学大学院工学研究科電子情報工学専攻博士（後期）課程を電子情報生命工学専攻博士（後期）課程に改組転換
令和	元年（2019）	3.1 北海学園大学禁煙宣言、7月1日よりキャンパス内全面禁煙、3.27 北海学園大学と法政大学との間で単位互換学生交流に関する協定締結、3. 校舎8号館竣工、鉄筋コンクリート4階建、延面積4,721m²、4.1 北海学園大学出版会発足、6.18 北海学園大学と北広島市との間で包括連携協定締結、7.9 北海学園大学と沼田町との間で包括連携協定締結、7. 開発研究所・地域連携推進機構『News Letter』創刊、12.18 北海学園大学と釧路町との間で包括連携協定締結
	2年（2020）	1.30 法学部と北海道大学法科大学院との間の法曹養成プログラム認定、2.26 3月20日開催予定の2019（令和元）年度卒業証書・学位記授与式の中止を発表、COVID-19（新型コロナウイルス感染症）拡大防止のため、3.9 同じ理由により4月2日開催予定の2020（令和2）年度入学式の中止を発表

北海短期大学開学当時の校舎

北海短期大学土木科開設当時の校舎

体育館・図書館完成（1968・昭和43年）

1969（昭和44）年の山鼻キャンパス

北海学園大学豊平キャンパス正門前

◆写真提供
・北海学園大学卒業アルバム
・北海学園大学同窓会
・北海学園大学各部局

北海学園学術研究助成事業報告⑭

研究課題

生活時間ミクロ統計データを利用した日本のワークライフバランスの実態解明

経済学部教授　水野谷 武志（みずのや たけし）

1971年生まれ。2003年法政大学大学院社会科学研究科経済学専攻博士課程修了。同年北海学園大学経済学部講師を経て、現在に至る。専門は経済統計。主な研究業績は、『雇用労働者の労働時間と生活時間：国際比較統計とジェンダーの視角から』（御茶の水書房、2005年）、『乳幼児を持つ夫妻の「拡大育児時間」の推計』『統計学』第112号（2017年）など。

「全労働時間」における男女平等の状況を考察

本研究では、総務省統計局が5年に1度実施する「社会生活基本調査」のミクロ統計データを申請・入手し、日本におけるワークライフバランスの実態解明を課題とした。

研究計画では、雇用形態別の生活時間配分をみるとともに、希望する就業時間と実際の生活時間配分の関係について探究し、利用可能な国外のデータを探し、国際比較も試みる予定であった。しかし、ミクロ統計データ申請から使用許可が下りるまでにかなりの時間を要してしまい、集計分析にあてる時間が短くなってしまった。そこで、テーマを絞り、ワークライフバランスの中でも重要なトピックである、有償労働（仕事や通勤等）と無償労働（家事や育児等）を合わせた「全労働時間」という概念に注目し、これを男女平等の視点から検討することにした。具体的には、「全労働時間」の同時分布を集計し、「全労働時間」およびその他の活動時間における男女平等の状況を考察することにした。

男女格差が顕著に表れる子育て期の夫と妻の「全労働時間」だけが12時間を超えている夫妻は15%、③夫の「全労働時間」だけが12時間を超えている夫妻は28%であった。つまり、末子が6歳未満の夫妻の過半数（①～③の合計）で、夫および／もしくは妻の「全労働時間」が12時間を超えているという、日本の長時間労働問題が改めて確認された。1日12時間という数字は、仮に週5日続けると週60時間になり、これはいわゆる「過労死ライン」に相当する状況である。

使用許可データの中で最新の2011年調査の「社会生活基本調査」データを使い、末子が6歳未満の夫妻の平日1日の生活時間を分析対象にした。

分析の結果、末子が6歳未満の夫妻全体のうち、①夫妻とも「全労働時間」が12時間を超えている夫妻は12%、②妻の「全労働時間」だけが12時間を超えている夫妻は15%、③夫の「全労働時間」だけが12時間を超えている夫妻は28%であった。つまり、末子が6歳未満の夫妻の過半数（①～③の合計）で、夫および／もしくは妻の「全労働時間」が12時間を超えているという、日本の長時間労働問題が改めて確認された。1日12時間という数字は、仮に週5日続けると週60時間になり、これはいわゆる「過労死ライン」に相当する状況である。

「全労働時間」の中身をみると、特に夫の有償労働時間の長さが目立つ。上記③の夫の有償労働時間の平均は13時間を超えていた。その一方で、妻は有償及び無償労働を二重に負担している。上記②の妻の「全労働時間」の平均も13時間を超えている。

このように、子育て期の夫妻は長時間労働によって非常に余裕のない生活を強いられている、いわば時間貧困の状態にあるということが明らかになった。

今後は国際比較を試みながら、日本の時間貧困の状況を明らかにしていきたい。

法学部教授　山本 健太郎（やまもと けんたろう）

トピックス60

コロナ禍と政治家

新型コロナウイルスの流行で、我々大学に関わる者も大きな行動変容を迫られているが、政治家も例外ではない。一般に、危機が発生すると、対策の前面に立つ政治家の露出が増え、人びとがその言動を厳しく評価するようになる。

そのなかで、北海道の鈴木直道、東京の小池百合子、大阪の吉村洋文の各知事は、評価を上げた政治家たちであろう。他方、安倍晋三首相など、評判を下げた政治家もいる。一体、この違いはどこから生じたのだろうか。

月並みだが、最も大きいのは、自分の言葉で語りかけたかどうかということであろう。相手は未知の感染症、患者の発生状況も刻々と代わり、矢継ぎ早の判断が求められることも多い。そんなとき、スピーチライターのきれいな原稿を読むだけでは、瞬時の判断ができる政治家なのか、疑問符がつけられてしまう。政治家がマスメディアを介さず、直接語りかけられるSNSでも、演出感満点の動画を投稿すれば、余裕などないはずの状況で余裕を感じさせ、人びとの危機感を共有していない政治家という印象を与える。

そもそも、政治家が自分の言葉で語るのには、リスクが伴う。判断材料が十分に手元にない現在進行形の危機の場合、発言の一貫性が損なわれて批判されることも往々にして起こるからである。しかし、人びとが不安を感じているときに、自らのリスクを恐れて消極的な発信に終始してしまうようなリーダーは、自己中心的とみなされ、信頼には値しないと受け取られる。

その点、リスクを正面から受け止め、自身が前面に立って逃げずに対応しているという姿を見せると、その中身はどうあれ、姿勢に評価が集まる。これが、道知事を含む一部の政治家が支持を集めた理由だろう。

だが、姿勢だけで引っ張れる時期はそう長くはない。危機が日常化しつつあるいま、政治家も緊急モードから、行政機関や外部の専門家を巻き込みつつ、個人ではなく組織で対応するモードに切り替える必要がある。初期対応で得た信頼という「財産」こそあるが、財源と権限が増えたわけではなく、これはかなり困難な作業になる。

国が十分な信頼を調達できずにいるなか、人びとの地方の政治家への期待はますます大きくなる。大きな期待と乏しいリソースのギャップを、コロナは容赦なく突いてくる。つづく、コロナは厄介である。

工学部 金澤健講師が土木学会吉田賞（論文部門）受賞

凍結融解作用によるRCはりの損傷と損傷後の静的破壊挙動の解析的評価

工学部講師　金澤 健（かなざわ たける）

昭和36年に創設された吉田賞は、コンクリートおよび鉄筋コンクリート（RC）ならびにこれらに関連する優秀な業績、論文、工事等に対して授与されるものです。以下では、標題の論文の内容を、「異方性」をキーワードにできるだけ平易に示したいと思います。

異方性とは、平たく言えば、「こっち向きに押したら強いが、そっち向きに押したら弱い」というような性質のことです。木材の加工のしやすさが繊維の方向によって違うような例が身近でしょうか。北海道のような積雪寒冷地に特有の凍害は、コンクリートが氷点下を含む範囲の温度変化に繰り返しさらされることで、強度が低下する劣化現象です。私たちの身の周りにあるコンクリート構造物には、コンクリートの力学的な弱点を補うために鉄筋が特定の方向性をもって埋め込まれています。この鉄筋の存在によって、凍害による強度低下にも異方性が生じることを明らかにし、それを加味できる力学モデルを作り上げたことが、論文の主な成果です。

上記の図に示された部材を梁と呼びます。この図は、梁の上部からの劣化範囲を3水準に設定し、各劣化範囲で壊れ方の違いを示したものです（図1）。異方性を考慮したモデルを使用することで、このように従来では再現できなかった壊れ方の変化を予測することが可能になりました（図2）。この成果は実験室レベルの挙動に対してですが、現在は実構造物を対象にできるよう研究を進めており、実際に道内の橋の調査も行っています。

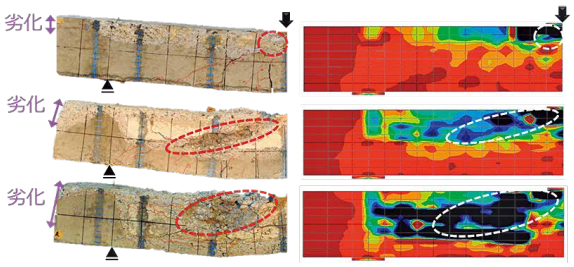


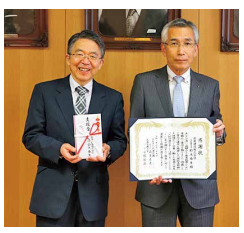
図1　図2

学生支援寄付金の受領

新型コロナウイルス感染症拡大によって経済的困窮に陥った学生への支援金として、本学卒業生が在職する企業より寄付金が受領された。

◆

・6月25日、岩倉建設株式会社 鈴木泰至代表取締役社長より、100万円が賜られた。安酸学長から「今回のご寄付を有効に活用させていただく」との謝辞が伝えられ感謝状が贈られた。

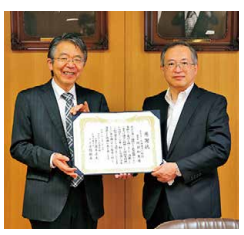


安酸学長と岩倉建設株式会社 鈴木泰至代表取締役社長

・6月26日、株式会社管野組 管野浩太郎代表取締役社長から本学工学部に100万円が贈られた。本学の社会環境工学科と建築学科の卒業生が在職していることから、両学科生の修学支援金として使われる。

株式会社管野組 管野浩太郎代表取締役社長から魚住純工学部長へ目録の贈呈が行われた

・7月10日、北海道河川財団 岡部和憲理事長より、100万円が賜れた。岡部理事長は「これからも優秀な学生を輩出してほしい」と伝えた。



安酸学長と北海道河川財団 岡部和憲理事長

北海学園大学同窓会（豊平会）

同窓会による奨学生認定証授与

同窓会（豊平会）は優秀な学業成績をあげたことが認められた学生19人を第1種奨学生として認定しました。

北海学園大学同窓会第1種奨学金給付学生

学部／学科	学年	氏名
経済学部／経済学科	2年	原田　和弥
経済学部／経済学科	2年	西村　勇輝
経済学部／地域経済学科	3年	伊嶋　柚稀
経済学部／地域経済学科	2年	佐々木　凛
経営学部／経営学科	3年	一戸　亮汰
経営学部／経営学科	2年	首藤　夏葵
経営学部／経営情報学科	3年	斎藤　志帆
法学部／法律学科	4年	矢田　実久
法学部／法律学科	4年	栗田　恵太
法学部／政治学科	4年	磯山　貴一

学部／学科	学年	氏名
法学部／政治学科	3年	石神　貴騎
人文学部／日本文化学科	4年	松橋　碧
人文学部／日本文化学科	4年	八巻　栞
人文学部／英米文化学科	4年	越前　梨
人文学部／英米文化学科	4年	齊藤　しほ
工学部／社会環境工学科	2年	小林　航大
工学部／建築学科	2年	紅谷　優
工学部／電子情報工学科	3年	本吉　和希
工学部／生命工学科	3年	平田　大賀

教育振興会

教育振興資金による奨学金授与

教育振興会は奨学金B（「学業成績が特に優れている学生への奨学金」）を9人の学生に給付しました。教育振興会の趣旨に賛同する多くの方々からのご芳志により、今年も1人あたり30万円を給付することができました。

奨学金B給付学生

学部／学科	学年	氏名
経済学部／経済学科	4年	福島　杏実
経済学部／地域経済学科	4年	近江谷圭汰
経営学部／経営学科	4年	菊地はるな
経営学部／経営学科	4年	大石菜々子
法学部／法律学科	4年	田村　香歩

学部／学科	学年	氏名
法学部／政治学科	4年	三浦　夢叶
人文学部／日本文化学科	4年	夛田　あみ
人文学部／日本文化学科	4年	大久保一馬
工学部／生命工学科	4年	古澤　惇平

在外研修報告

バレンシアに学ぶ

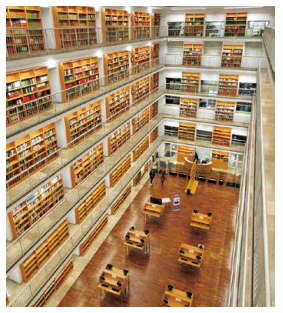
法学部教授　鈴木（すずき）　光（ひかる）
（専門：行政法、環境法）
スペイン／バレンシア大学

バレンシア大学法学部

私は一年間の在外研修をお許しいただき、令和元年九月から翌年三月まで、スペイン王国バレンシア大学法学部にて国有地法研究に従事しました。研修に際しては、学校法人北海学園、および北海学園大学の学生・教職員の皆様より多大なるご支援・ご協力を賜りました。ここに謹んで御礼を申し上げます。

バレンシア大学（Universitat de Valencia）は、一四九九年創立の公立総合大学です。五つのキャンパスに医学・薬学・工学・歴史学・心理学・経済学・法学など二十以上の学部が置かれ、約五万五千人の学生が学んでいます。図書館が十七もあり、その多くは二四時間開館しています。課外活動も盛んで、バスケットボール、テニス、サッカーなどは勿論、障害者スポーツ、剣道、柔道、空手部もあります。欧州には世界最大の大学間交換留学制度ERASMUSがあり、六百万人以上の学生が、欧州三七か国の五千以上の大学へ、三～十二か月間、学費免除で留学していますが、近年、希望する留学先の第一位にバレンシアポリテクニカ大学（バレンシア大学の真向かいに位置）が、第二位にバレンシア大学が選ばれたことから、キャンパスは、欧米はもとより、アジア・アフリカを含む世界各国からの留学生で賑わいつつあります。

バレンシア大学法学部は、六千人の学生を擁する大きな学部です。行政法専門コースがあり、行政法専任教員だけでも十五名以上おりますので、行政法研究者にとっては願ってもない理想的な研究環境です。幸い私は、スペインを代表する法学者、ガブリエル・ドメネク・パスクアル（Gabriel Doménech Pascual）教授にご指導をいただき、国有地法を深く学ぶことができました。なお法学部では、法理論の修得のみならず、それを実社会で具体的に実践できてこそ学びの意義があるとの考えから、現代的な法律問題をテーマとする国際学会・研究会・勉強会等が開催されています。そこでは多くの学生・教職員・地域住民が時を忘れて議論に没頭し、理論と実践のトレーニングが積み重ねられています。こうした学びを経験できたことも、今回の研修の大きな収穫の一つとなりました。


7階まで吹き抜けの図書館

一年間の在外研修のうち、前半半年はバレンシア大学、後半半年は米国コロラド大学ロースクールに滞在予定でしたが、新型コロナウイルスの影響拡大に伴い北海学園大学より帰国勧奨を受け、残念ながら志なかばにして帰国の途につきました。いつの日か、コロラド大学ロースクールで研修を再開できるよう願っております。

コロナ禍のニューヨーク

人文学部教授　佐藤（さとう）　貴史（たかし）
（専門：思想史）
アメリカ／ニューヨーク大学

19世紀ドイツのユダヤ教ならびにユダヤ人の思想を研究するために、２０１９年９月から1年間の予定で、ニューヨーク大学ヘブライ・ユダヤ学科に客員研究員として滞在しました。

ユダヤ研究の拠点として、ニューヨークが想像以上に研究しやすい環境だったことは嬉しい驚きでした。ニューヨークはヒトラーのドイツから逃れたユダヤ人思想家たちが住んだ街であり、ユダヤ研究において世界的に有名な組織がいくつもある場所です。また、観光地としても有名なニューヨーク公共図書館のなかにはDorot Jewish Division と呼ばれる、優れたユダヤ研究の部門があります。タイムズスクエアで地下鉄を降り、ブライアント・パークでコーヒーを飲み、図書館で文献を読む。単調に思えるかもしれませんが、このような研究生活を送ることはなかなかできないものです。

ニューヨーク公共図書館のDorot Jewish Division

クリスマスらしくなっているニューヨーク公共図書館のライオン像

ところが、３月を境にニューヨークに大きな変化が起きました。ご存知の通り、ニューヨークはコロナウィルスの感染者と死者の数で世界中の注目を浴びることになったのです。クオモ州知事は会見で困難な状況だが「もう少しだけ親切になって」、この危機を乗り切ろうと市民に語りかけました。アジア人差別のニュースが出ていた時期だったので、彼の「もう少しだけ親切になって」という言葉に励まされました。

また、コロナ禍のなかで働いている人たちに感謝するために、午後7時に窓から拍手をしたり、口笛や楽器を鳴らすというイベントが、3月27日から始まりました。この時期は1日中、救急車のサイレンが鳴っている状況だったので、多くの人々にとって安心できる時間になったのではないでしょうか。

コロナ禍のなかで働いている人たちに対する子どもからのメッセージ

6月半ばに帰国しましたが、その頃はコロナ禍にくわえて、白人警察官による黒人男性の殺害をきっかけとした、人種差別に対する抗議デモがかなり大きくなってきました。ある日、ハドソン川に通じる小道を通ると、大きな木に「殺し合いはやめよう」というメッセージが掲げられてました。

クオモ州知事の「もう少しだけ親切になって」、小道で見かけた「殺し合いはやめよう」――どちらもシンプルですが、重いメッセージです。ニューヨークでユダヤ研究を進めることができたことは大変有意義でしたが、同時にコロナ禍のニューヨークに住んだこともまた、無事に帰国できた今となれば貴重な経験だったと考えています。

ブラジルから留学生 中野さん学長訪問

6月24日、学長応接室において北海道国際交流・協力総合センターによる、北海道出身海外移住者子弟留学生受入事業の留学生、中野ガブリエル寿則さんが安酸学長に挨拶を行った。

ブラジルでは、システム開発および分析を履修。本学では、来年3月まで工学部電子情報工学科の菊地慶仁教授の指導のもと、日本のＩｏＴ技術とその応用を学ぶ。

前列左から、安酸学長、工学部研究生・中野ガブリエル寿則さん

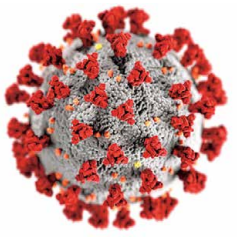
工学部教授　小山（こやま）　芳一（よしかず）

未来展望

新型コロナウイルスワクチン 叡智 vs. 気まぐれ

新型コロナウイルスが席巻し、世界の先端バイオ企業・アカデミアがワクチン開発にとり組む。目を引くのはワクチン本体が遺伝情報型のものである。例えばＲＮＡワクチンの場合、ウイルスのゲノム情報を合成機に入力するとＲＮＡが作られ、これを投与する。ＲＮＡに書き込まれた情報（タンパク質の設計図）はヒトの細胞の中で解読、ワクチン分子がそこで作られ、免疫がはたらくという仕組みだ。今年の1月末にゲノム情報が公開され、半年足らずで大規模ヒト試験開始を発表する企業も現れた。期待は募るが、ワクチンが完成しても楽観はできない。まずは安全性。特にＲＮＡワクチンの実用化は例がなく、健康な人に投与することを考えると徹底的に調べる必要がある。有害事象に対する適切な説明と正しい理解がなければ、副作用を理由に接種が回避されたり、行政は薬害訴訟を恐れて接種制度化に踏み切れない、などが予想される。そうなれば集団免疫が成立せず収束は期待できない。もうひとつはウイルスの変異だ。免疫が標的とする作用点に変異が起これば人類の叡智が生んだワクチンはただの粉末と化す。

ところで、このウイルスの変異が人類にとって極めて重要な意味を持つことがわかってきた。最近の生物学研究で、ヒトの遺伝情報の約10％がウイルス由来であるということが示されたのだ。すなわち、ウイルスの変異と感染が人類の進化、さらには地球上の生命の多様性構築に関わってきたことを意味する。生態系は、すべての構成要素が互いに影響し合いながら創造され、そのバランスを保全してきた。だが、ヒトという「知的な」種（生態系のひとつの要素にすぎない）が産業革命でエネルギーを手にして以来、80億近くまで急増殖。この間、エネルギー需要の急伸に伴う採掘可能化石燃料の枯渇、二酸化炭素排出、気温上昇に伴う異常気象等、かつてない環境・生態系の激変がもたらされた。いま、ウイルスという適応プログラムが起動、ヒトという種の次の進化に向けた選別が始まったと言ったら、皆さんはどう思うだろうか。ウイルスの気まぐれに見える「変異」に人類の「叡智」であるワクチンはどこまで通用するだろうか。


コロナウイルス（米国疾病対策センター）
スパイク（赤）がワクチンとして使われる。

自著を語る 22

経済学部講師
牛久（うしく）　晴香（はるか）

「アフリカ的発展」の可能性を示す事例研究

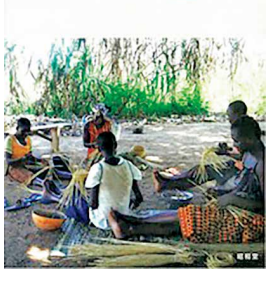
突然ですが、みなさんは「かごバッグ」をお持ちですか？軽やかで涼しげな印象を与えるかごバッグは、日本女性の春夏ファッションに欠かせないアイテムでしょう。実は、その一部は遠く離れたアフリカの農村から来ています。

本書がとりあげるのは、代表的なアフリカ産かごバッグのひとつである、ガーナ共和国ボルガタンガ地方の「ボルガ・バスケット」です。ボルガ・バスケットは、もとは地酒を造る際に使う濾し器でしたが、１９５０年代に手工芸品に改変されて以降、同地が誇る随一の輸出商品となっていきました。

アフリカの農村地域の多くは、天然資源やカカオ、コーヒーなどの一次産品を除けば、国際市場に継続的に輸出できる商品を持っていません。くわえて、ボルガタンガ地方はガーナのなかでも最もアクセスの悪い地域です。

本書の問いは、ガーナの最果てにある小さな農村地域が、どのようにして世界にひろく流通するかごバッグの産地になっていったのか、という単純なものです。しかし、この問いに答えるためには、開発政策や市場の変化、現地の生態環境と物質文化、かごづくりの技術、編み手の生活、取引の方法や商人の活動といった、さまざまな要素とその絡み合いをひとつずつ理解する必要がありました。

とくにこだわったのは、バスケットをつくり、売るためのローカルなしくみと、その背景にある「地域の論理」をわかりやすく伝えることです。日本との違いに驚かれるかもしれませんが、「アフリカ的」な産業発展の方法に学ぶべきことは多くあります。難しいことはさておき、日本で購入できるアフリカのかごバッグが、どのような環境でどのようにつくられているのか、ちょっと調べてみませんか？ボルガ・バスケットと本書をきっかけに、遠く離れたアフリカに関心をもっていただければ望外の喜びです。



『かごバッグの村
―ガーナの地場産業と世界とのつながり』
昭和堂 2020 年

学園人脈記

第13回

北海道文化放送
報道スポーツ局　報道情報部
山口 英里子（やまぐち えりこ）氏
みんテレ アシスタント プロデューサー
経済学部経営学科 平成9年卒・29期生

uhbにて。「テレビとネットはライバルのようで、実は好相性。ネットを通してテレビを元気にしてきたいですね」

ニュースも、その裏側も伝えたい

北海道文化放送（uhb）の報道記者として活動後、12年間は専業主婦に。4年前から再びuhbで活躍している山口英里子さんを、前号登場の大森由美子さんが紹介してくれた。

「20年以上前、経済学部の女子学生は約2割。目指す業界は違っても、社会に出ることに前のめりだった大森さんと私は似た者同士で気が合い、励ましあっていたんです」と笑顔で話す。

◆　◆　◆

「将来はテレビ局のアナウンサーになる」。入学前から夢が明確だった山口さんは、在学中から北海道内のテレビ局でアルバイト。2年次には「ミスさっぽろ」として、年間100日を費やして国内外を巡り、札幌をPR。モデルとしても活動した。3年次にはテレビリポーター、4年次にはお天気キャスターに抜擢された。

「当時は、平日は毎朝2時半に局入りして5時半から生放送に出演。終了後は、9時半から大学で受講。多忙でしたが、大学時代にできることは何でもやろう！と貪欲でしたね」と振り返る。

沢木耕太郎さんの紀行小説『深夜特急』に影響を受けて、3年次の夏休みには青春18きっぷとヒッチハイクで友人と全国を巡った。「若者ならではの旅でした。大学生の皆さんにも、ぜひ、今しかできないことに挑戦してほしい」と呼びかける。

◆　◆　◆

「在学中からテレビに出演し続けたことで局アナへの思いは満たされたため」、卒業後はフジテレビ系列の北海道文化放送（uhb）に報道記者として入社。2年間は北海道警察を担当した。

「刑事さんにオフレコで話を聞くために夜討ち朝駆けをし、遭難現場ではヘリコプターで上空から取材。一方で、事件や裁判の報道に必要な法律の知識不足を痛感。必死で勉強しながらのレポートでした。警察取材は肉体的にも精神的にも厳しい仕事でしたが、日々の現場が面白く、テレビの仕事にのめり込みました」。

平行して自信をつけていった山口さんは入社3年目の1999年9月に「uhbスーパーニュース」のキャスターに抜擢された。その2年後、視聴者を釘付けにする報道で注目される。

◆　◆　◆

2001年9月11日、休暇でNYにいた山口さんはビルから煙が上がっているのを現場から数キロの場所で目撃する。同時多発テロだった。フジテレビのNY支局に連絡すると、「いいところに来た」。以前、有珠山の噴火を共に取材した記者が支局長になっていた。すぐにカメラマンと2人で取材を開始。リアルな現場レポートは日本中に放送され、その仕事ぶりが評価された山口さんは「フジテレビ報道社長賞」を受賞。同局の夕方のニュースを担当していた安藤優子キャスターの不在時には代理に抜擢された。

実は山口さんはフジテレビの入社試験を受け、最後の最後で採用を見送られた苦い思い出がある。「予想外の展開でしたが、雪辱が晴らせました」と笑った。

2004年にNHKの記者と結婚。同年10月に妊娠を公表して退職した。「皆に勿体ないと反対されました。でも、仕事しかしてこなかった私に、仕事にも家事、育児にも100%は無理。そう考えて決断しました」。

以来12年間は「ほぼ専業主婦」として暮らした。

◆　◆　◆

二人の子どもが11歳と8歳になった4年前に会社を設立し、uhbの報道番組に携わっている。現在はuhbが運営するWEBメディア『SASARU』の編集長として、大学生からプロまでを含む多数のライターを束ね、北海道の情報を精力的に発信している。

フリーアナウンサーとして、教育とメディアリテラシーをテーマとした講演活動にも意欲を燃やす。「情報にはさまざまな背景があります。その発信の舞台裏や、情報の賢い読み解き方をお伝えすることも、私の大事な仕事だと思っています」。

萌えだん
SASARU
ついつい"おさきっちゃう"北海道Webメディア
SASARU プロデュース"萌えだん"
北海道在住、情報発信力のある次世代のイケメンたちを紹介しています！

「プロフィール」札幌市生まれ。北海学園大学経済学部在学中に「ミスさっぽろ」やテレビのお天気キャスターとして活動。1997年卒業。北海道文化放送（uhb）の報道記者を経て99年9月より「uhbスーパーニュース」のキャスター。2001年9月、休暇で訪れていたNYで同時多発テロに遭遇。フジテレビから緊急リポートを行い、同社の報道社長賞を受賞。2004年退職。2016年よりuhbの嘱託などとして活動を再開。

同窓生の声

中道リース株式会社
北海道営業部 札幌支店
渡部 瑶平（わたべ ようへい）
経済学部地域経済学科
（平成28年度卒・11期生）

日々の努力と経験でステージアップ

「私がこの会社に入社したのは、北海学園大学のインターンシップで中道リースに行ったことがきっかけなんです。」

渡部さんは入社4年目の営業マン。サプライヤー（販売会社）とお客様との間に入りリースをはじめ、様々なファイナンスの提案営業を行っている。そもそも「リース」とはお客様の代わりに設備を購入し、貸し出しを行うサービスのこと。たとえば、レントゲンやエコーなどの医療機器、オフィスにあるパソコンや通信機器、スーパーのレジ棚、パチンコ台などリースの対象となる。渡部さんは車両建機部隊として、大型トラックや除雪で使うタイヤショベルカーなどを担当。「実際に自分が契約したものが現場で動いていたり、街中を走っているのを目にすると喜びがありますね。」

リースの営業といっても商品をただ売るだけではない。

「商品を売るためには人間性が大切です」と語る。お客様の業界ニュースやトピックスの情報収集。リースに関わる金融知識の勉強。日々たくさんの知識を吸収することが成長へとつながっている。

中道リースには簿記やファイナンシャルプランナーなどの資格を積極的に取得できる仕組みがあり、「私は運行管理者の資格を取得し、物流業界の知識を深めることができました。」

大学時代を振り返ると、飲食店でのアルバイトに時間をつぎ込んでいたと笑う。「昔から人と話すのが好きで、特に聞くのが好きでした。接客を通して社会で必要なコミュニケーションの取り方を学びましたね。」

入社のきっかけとなったインターンシップでは、実際に営業に同行。社会で働くことを身を持って経験した。

「当時、同行した先輩は入社してからも大きな存在です。困った時は相談もしますし、営業に必要な情報交換もします。」

大学4年生の時には、後輩たちに就職活動のアドバイスをするミナトコムジュニアに参加。中道リースでは新卒採用活動を若手社員が中心になって行うのだが、その時の経験が生きていると話す。

「就職活動には人それぞれの状況や考え方があります。ミナトコムジュニアでたくさんの人の話を聞けたことは新卒採用にもつながっています。就職活動で大切なことは実際に自分の目で見て判断することだと思います。働いている自分を想像できる会社を選ぶのがいいのかな。」

人文学部 特別オンライン講演会

人種、アメリカ、そしてあなた
2020年 社会的正義へのアメリカの抗議

6月26日（金）の人文学部専門講義「アメリカ史特論」（担当・大森一輝）の中で、「人種、アメリカ、そしてあなた―2020年社会的正義へのアメリカの抗議」と題する特別講演会が行われました。

在札幌米国総領事館の協力を得て、大阪に滞在中の外交官ハービー・ビーズリーさんをオンラインでお招きし、Black Lives Matterの現状と課題についてお話ししていただきました。

教室には20名ほどの学生が集まり、ライブ配信でさらに20名ほどが参加しました（残りの受講生は、学内限定で公開した録画を視聴しました）。

この授業では、1950～60年代のアメリカにおける公民権運動と、その後の人種関係の変化について学んでいました。それと密接に関わる現在進行中の事態に、学生の関心も高く、多くの質問が出て時間が足りなくなるほどでした。

ビーズリーさんが強調された、単に「人種差別をしない」のではなく、自らが「人種差別をなくすための力になる」ことの重要性を、参加者は感じてくれたと思います。

現在は過去の積み重ねの上にあります。そして、未来は現在の積み重ねの上にできます。社会問題に対して即効性のある解決策を提示することは、人文学にはできません。しかし、歴史的存在としての「われわれ」について省察し、「われわれ」には何ができるのか、何をすべきなのかを、粘り強く、幅広く考えることはできます。

そのために、今後も、世界の動向に目を向け、現場と学問をつなぐ試みを続けていきたいと思います。

オンライン講演会をするハービー・ビーズリー氏と真剣に聞き入る学生たち

アカペラサークルLapis所属
「アルペジオ」全国ハモネプリーグ出演

経営学部経営学科4年　**柏谷 優衣（かしわや ゆい）**

私たちは、2月末のサークル単独ライブとイベント出演を終えてから、新型コロナウイルスの流行でサークル活動が出来なくなってしまったことや、各々の就職活動などもあり、久しくアカペラをしていない状況でした。しかし、メンバー全員が4年生である私たちにとって、今回のハモネプがラストチャンスかもしれない、挑戦することを決めました。出場が決まった際には、メンバー全員で喜び、収録まで練習を重ねる日々が続きましたが、初心に帰って、楽しんで臨むことが出来たとのではないかと思います。東京での収録参加が叶わず、リモート収録という異例の形での出演にはなりましたが、放送を見て下さった多くの方々から「良かったよ！」と称賛の声を頂き、とても嬉しく思いました。また、私自身、ハモネプをきっかけにアカペラを知ったように、今までアカペラを知らなかったという方や、聴いたことが無かった方にも、アカペラの魅力を、演奏を通じて伝えられていたら嬉しいです。ラストイヤーにこのような貴重な経験が出来たことも、1年生の時から一緒に頑張ってきたメンバーや、サークル活動に携わって下さった全ての方々のおかげです。応援して下さった皆様、本当にありがとうございました。まだ、以前のように集まってサークル活動を再開していくのは厳しい状況にあるかもしれません。しかし、残りの大学生活のどこかで、再び歌える機会があるといいな、と思っています。そして、来年度創設10年目を迎える我々アカペラサークルLapisを、今後も応援して頂ければ幸いです！

リモート収録でも全力演奏

大学院文学研究科修士課程1年　蟬塚 咲衣（せみづか さきえ）
第9回 Esri Young Scholar Award 受賞

受賞ポスターを掲げる蟬塚咲衣（文学研究科日本文化専攻修士課程1年）

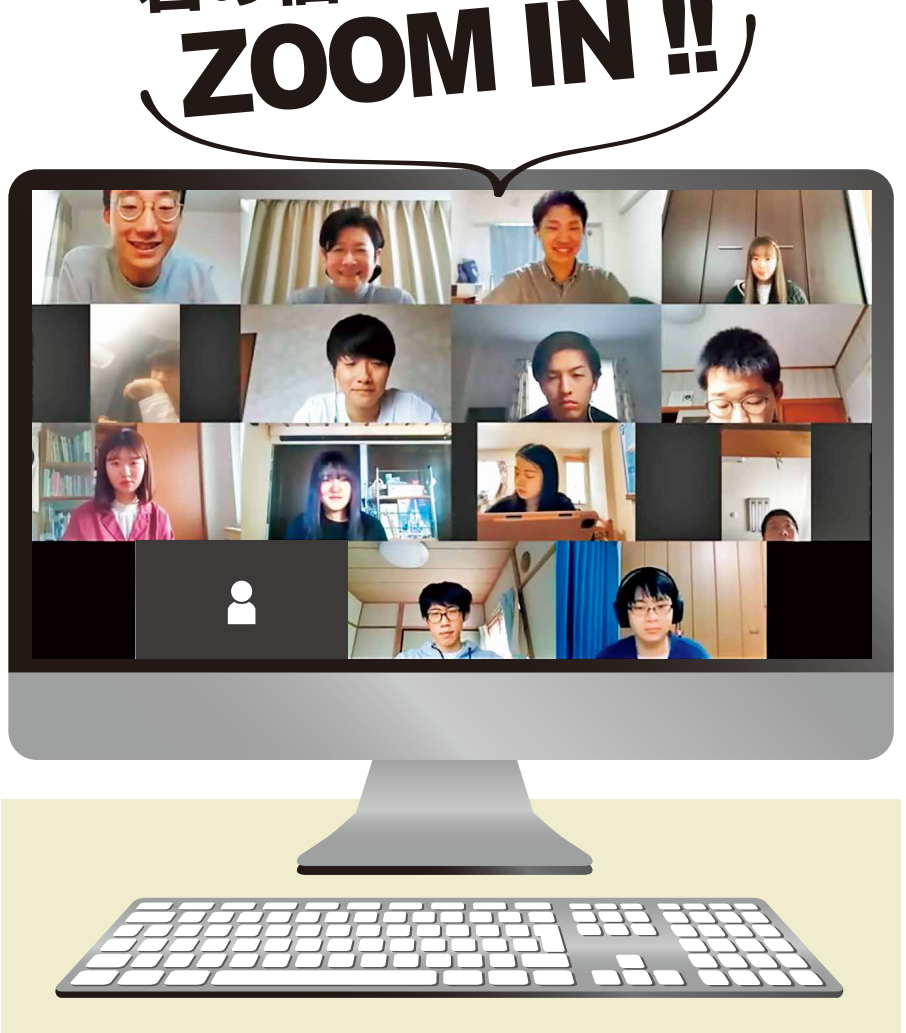
米国のESRI社が地理情報システム（GIS）を使って優れた研究を行う学生に与えるEsri Young Scholar Awardを発表。蟬塚咲衣さん（大学院文学研究科修士課程1年）が日本の応募者の中から最優秀者に選ばれ受賞した。

受賞者は米国カリフォルニア州サンディエゴ市で開催される世界最大のGISイベント「第40回米国Esriユーザー会」へ招待される。（今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で7月13日から15日にオンライン開催）

蟬塚さんは、GISを本学の地理情報システム論で習得。"奥尻島における祭礼"という研究テーマにGISを応用した。祭礼研究は民俗学など質的な視点からアプローチされることが多いが、定番の研究手法とGISの技術を組み合わせ、新たな知の創出に貢献した点が高く評価され本道から初の受賞となった。

上級生が大学生活の疑問に答える

経営学部1年生のためのリモートサポート



経営学部1年生サポートグループの活動について

経営学部教授 石井（いしい） 晴子（はるこ）

私たちは、4年生2名と3年生1名による経営学部1年生のための「1年生サポートグループ」という活動をしています。1年生からの疑問、質問、特に海外での学びや英語学習に対する疑問に答える、という形で、不定期に「ZOOM会」というのを行っています。ゴールデンウィーク明けから今までに合計3回開催しました。きっかけはコロナ禍で大学に行けない1年生を見て、大学に行けたならば講義以外に何を知ることができるのか、知らないと何が困るのか、それすら判っていないのだろうなと思ったことにあります。コロナ禍で彼らの未来、可能性や、持つことができるはずのワクワクを阻害されてはいけない、という強い思いがありました。

そこで何か企画しようよ、と教えている4年生二人に持ちかけると、3年生一人を巻き込み、3名での企画体制が出来上がりました。その後は彼らが主体となり、with Corona, after Coronaを見据えた将来の話をしよう！ということで現在に至っています。

経験を活かしてイベントを企画

経営学部 経営情報学科4年 篠田（しのだ） 稜介（りょうすけ）

私がこの活動を始めたきっかけは、石井先生から伺った大学生活に不安を抱えている1年生の姿がその頃の自分と重なったことです。4年生になった今振り返ると、1年生当時は大学生活をイメージできずにいて、あの頃、2年生以降の情報を知っていればもっと楽しめていたのに、と思います。そして、今年の1年生はコロナウイルスの影響で学校に行けず、大学になった実感が薄いことで尚更それが難しいのではないかと思いました。1年生には私のような経験をしてほしくない、何か力になりたいとの思いから、宍戸君に声をかけ、この活動を始めました。

そこで、まず1年生が何に困っているのかを知るため質問を募集したところ、英語関連のものが多く寄せられました。また、メンバー全員が海外経験や、英語学習に関心があるため、活動内容をその分野に特化し、1年生が今後海外へ挑戦する気持ちを高め、楽しい大学生活をイメージできるようなイベントを企画することにしました。

1年生の大学生活にワクワクを！

経営学部 経営学科4年 宍戸（ししど） 瑠伊（るい）

篠田君と僕は、綿引さんも巻き込み、〝1年生の大学生活にワクワクを作る〟というコンセプトの基、計3回のZoom会を開催しました。第1回では、〝大学生活〟、第2回では、〝留学・海外経験〟、そして第3回では〝海外総合実習〟をテーマに、会を企画・運営しました。各Zoom会では、複数のパネリストを招待し、会のテーマに沿った内容についてプレゼンをしていただきました。その後、参加者からパネリストに質問をする流れで進行していきます。前半のプレゼンは、パネリスト自身の多彩な経験を基にした、魅力的なプレゼンでした。後半の質問会では、沢山の質問が飛び交い、参加者とパネリスト双方にとって充実した時間になりました。また、毎回の事後アンケートには、「今後の大学生活が楽しみになりました！」や「海外へ挑戦したい気持ちが高まりました！」など、今後の大学生活や海外挑戦に対して前向きなコメントを沢山いただき、主催者としても、大変やりがいを感じました。

反省と改善でイベントの質を向上

経営学部 経営学科3年 綿引（わたひき） 彩乃（あやの）

私は本年度の3年次編入生で、5月にこの活動の話を待ちかけられました。その当時は、編入生である私が「1年生のためのイベント」を、会ったことのない先輩方と一緒に作り上げることは可能なのかと、不安を感じていました。しかし、海外経験や英語学習という面において、私が何か貢献できるのであれば、挑戦したいという気持ちが次第に大きくなり、チームの一員に加わりました。活動を進めていく中で、一番意識をしたことは「参加者に学びのある会」を作ることです。そのために、事後アンケートを実施し、参加者の声を聞き、改善を重ねてきました。反省と改善を繰り返すことで、イベントの質の向上に繋がり、結果的に、参加者の満足度が向上していきました。PDCAサイクルを徹底的に応用し、反省を活かすことの重要性を実践の中から学びました。次回は、今までの経験を活かし、更にグローバルに意識を向けたイベントを全学部対象に開催したいと計画しています。

第3回交流会ゲストパネリスト

経営学部 経営学科3年 佐藤（さとう） 結夏（ゆいか）

この交流会で一番印象に残っていることは、後輩たちの留学に対する疑問を聞けたことでした。彼らは現地の学校の事、治安の事、ホストファミリーの事など、日本にいたら考えないことを真っ先に考えていました。私は、その心配事との対面がまさに異文化交流であると思います。今まで自分の世界にはないもの、有り得ないものと向き合うことで価値観は広がります。この交流会を通して、後輩の異文化交流への心配がなくなれば、嬉しいです。

海外総合実習

Zoom会参加学生

経営学部 経営情報学科1年 福士（ふくし） 凱斗（かいと）

この会に参加したことで得ることができた情報は、英語を学ぶ上で、さらには海外へ何らかの形で行くうえで非常に有意義なものになりました。様々な情報を提供していただいた中で、とても価値ある情報だったと感じていることは、実際の海外留学を経て得た経験や反省、どの程度の語学スキルが最低基準なのかなどの情報を聞けたことや、海外で通用する英語の勉強方法を直に聞けたことです。充実した会をありがとうございました。

学長室訪問

▽5月22日　札幌学生野球連盟理事長 廣嶋健氏、同事務局 高橋淑子氏
▽6月19日　株式会社紀伊國屋書店北海道営業部長 佐藤宏典、同営業部主任調査役 金山博之氏、同営業部 宮下敦好氏
▽6月24日　工学部研究生 中野ガブリエル寿則氏、公益財団法人北海道国際交流・協力総合センターHIECC交流・交流部長 角張敏郎氏、他2名
▽6月25日　岩倉建設株式会社代表取締役社長 鈴木泰至氏、同事務部執行役員部長 田伏一志氏、同事務部総務課人事課長 堀貢祐氏
▽7月27日　一般財団法人北海道河川財団理事長 岡部和憲氏、同総務部長 福松守志氏、同企画部上席主査 東海林勉氏

♥AEDの設置

本学に設置されているAED（自動体外式除細動器）を、よりわかりやすい位置に移動しました。

AEDは、突然心臓が正常に拍動できなくなった心停止状態の心臓に対して、電気ショックを行い、心臓を正常なリズムに戻すための医療機器です。操作方法を音声でガイドしてくれるため、簡単に使用することができます。AEDの使い方は動画で確認することができます。

AED設置場所
・4号館1階受付
・6号館1階受付
・文化棟1階受付

4号館1階受付に設置されたAED

山鼻キャンパス⇔豊平キャンパス
シャトルバス運行開始

6月8日から、山鼻キャンパスと豊平キャンパスを往復する「工学部シャトルバス」の運行が開始されました。

工学部の学生と大学教職員が無料で利用することができます。皆さんの移動を安全かつより快適にするために役立てて下さい。

運行ダイヤル等の詳細はホームページをご覧ください。

工学部シャトルバス

放送研究会と映画研究会がオムニバス映画「突然失礼致します！」に作品を出品

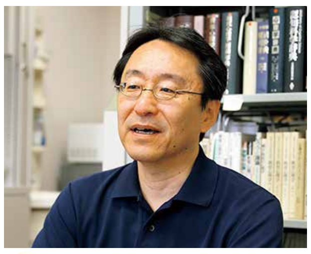
公開日程　Youtube公開：8月16日(日)～10月31日(土)

全国約120大学、合計200人以上の学生が監督となり、外出自粛期間中に「希望」をテーマに1分以内の映像作品を制作し、その全作品が集まって1つのオムニバス映画になりました。本学からは3作品を出品しています。

新 大学院 研究科長に聞く！

今年度新しく就任した経営学研究科長・佐藤淳教授、文学研究科長・上野誠治教授、工学研究科長・髙橋考太教授に抱負などを伺った。

他にはない多彩な教育課程



経営学研究科長
佐藤（さとう） 淳（じゅん） 教授

―経営学研究科の特色は？

佐藤教授　当研究科は『組織経営』、『組織情報』、『組織心理』からなる3つの科目群を有し、各科目を8つの履修モデル【「組織」、「マーケティング」、「企業・社会」、「会計ファイナンス」、「情報」、「教育」、「心理」、「医療」】に位置づけています。このような他には見られない多彩な教育課程の編成により、経営学に関わる様々な研究関心に対して、あらゆる角度から応え得ると自負しています。また、社会人の受け入れに力を入れており、在籍者の9割以上が職業を持ちつつ研究に励んでいます。看護職や社会保険労務士向けの特例受験制度を設けている点も特色の一つですが、学問の性質上、特に企業人や団体職員、公務員といった、組織に属されている方々の受験を歓迎しています。

―これまで果たしてきた役割と成果は？

佐藤　経営学研究科は、2003年の経営学部開設に先立つこと3年前の2000年に開設され、今年で21周年を迎えます。これまでに19名の博士と114名の修士を輩出してきました。その多くは、高度職業人としての高い課題解決能力を身に付けて元の職場で活躍されていますが、大学教員の職に就いた方も少なくありません。そのうちの数名には、当研究科の非常勤講師として、研究の成果を後輩たちにフィードバックしていただいています。

―新研究科長としての抱負をおきかせください。

佐藤　私は幸いなことに、初代研究科長をお務めになられた内田昌利先生の下、研究科の立ち上げ時点から関わらせていただきました。経営学研究科には珍しい『組織心理』分野を設けて教育課程の幅を広げられたのは、内田先生のお導きによるものです。また、これも他に見ない「医療マネジメント」履修モデルの設定は、当研究科が過去から培ってきた北海道看護界との太い繋がりの中から、第六代研究科長の石井耕先生とともに構想したものです。これらの豊富な資産を引き継ぎ、さらに発展させて、いっそう多くの皆様に魅力的な研究環境をお届けすることが、九代目の研究科長としての務めだと思っています。

―学生へアドバイスを。

佐藤　社会人の方は、休日が研究に集中できる日になると思います。また、大学院の授業は受講者の発表が中心になりますので、平日もその準備に追われることになります。仕事と研究の両立は並大抵のことではありませんが、共に精励しましょう。

―休日の過ごし方は？

佐藤　院生の皆さんと同様に、私も休日を意識したことはありません。

―先生のおすすめの本は？

佐藤　本を読んで勉強するのは学部生のやることです。本には10年前の知見しか書かれていません。院生は論文を読んで研究してください。もし専門領域の知識に不足があると感じたなら、読むべき本を指導教授に尋ねましょう。

人間の営みを見る確かな眼を養う

文学研究科長
上野（うえの） 誠治（せいじ） 教授

―文学研究科の特色は？

上野教授　どの学問でも、多かれ少なかれ、人間とは何か、を問い質すことを使命とします。人間は言葉を駆使し、一定のルールの中で経済・社会活動を行っています。似たようなことを行う他の動物もいますが、やはり人間のそれとは違います。ですから、どの学問も独自の切り口で人間の営みを研究し、人間とは何か、を考えていくわけです。宇宙がビッグバンに始まるということが分かっても、私達の生活に直接関係はないかもしれませんが、それを知りたいと思うのは、自分たちがどこから来てどこへ向かうかを知りたいからでしょう。文学研究科ではそういった問いにより直接的に向き合っていきます。

―新文学研究科長としての抱負をお聞かせください。

上野　もっと多くの人に、特に学部生に人文学を学ぶ意義や研究の醍醐味を伝えたいですね。教職課程や日本語教員養成課程、学芸員課程などで勉強する学生も多くいますので、そこでの学びをさらに深める、という選択肢があることも情報として提供していきたいと思います。大学への進学がさほど珍しくはない現在、本当の意味で、一つのテーマを究め論文にまとめる経験ができるのは大学院だろうと思いますし、その経験は、その後の人生に何らかの形で活きるはずですから。

―学生へのアドバイスを。

上野　人文学部の学生はもともと、言語、文学、歴史、思想などに深い関心を持っている者が多くいますから、実社会に出る前に、更なる高みを目指して、大学院での学びに果敢に挑戦してもらいたいですね。もちろん、他学部の意欲ある学生、社会人も大歓迎です。

―先生の休日の過ごし方や趣味は？

上野　家庭菜園をやっています。水遣り、草むしり、収穫など、よい気分転換になります。

上野先生のおすすめの本
永田和宏『知の体力』（新潮新書）

新しい時代をデザインする力を持った人材を育てたい

工学研究科長
髙橋（たかはし） 考太（こうた） 教授

―工学研究科の特色は？

髙橋教授　建設工学と電子情報生命工学の2専攻制で、いずれも第一線で活躍する教授陣が分野横断的に協力できる体制になっています。地域と連携し北海道に根差した技術開発に取り組む教員も数多くいます。本研究科は大学院生と教員の距離が近く、細やかなマンツーマンの指導体制が組まれています。教員とのコンタクトが制限されがちなマンモス大学院では得られない贅沢な個人指導を受けることができ、最新の研究設備を自身の研究に自由に利用できる環境にあります。

―新工学研究科長としての抱負をお聞かせください。

髙橋　新設の電子情報生命工学専攻から課程博士を輩出し、研究科の体制を完成させることが第一です。コロナ流行下、大学院生の安全を確保しつつ教育研究の質を落とさない方策を工夫してゆく必要もあります。本研究科には社会人コースがありますので、リカレント教育の場としての魅力発信と受け入れ態勢の充実を図り、生涯教育のニーズに応えたいと思っています。中長期的には、大学院生の数を増やしさらに活気ある研究科としていくことが目標です。

―工学研究科で学ぶことの意義とは？

髙橋　最先端の学問に触れ、新しい視点や柔軟な発想法を習得できます。研究活動を通し論理的推論の訓練を繰り返すことで、人生の指針となる客観的な判断力を身に着けることもできます。本大学院修了生は幅広い技術分野に就職しており、大学や研究機関で研究者となって活躍している人もいます。

―学生へアドバイスを。

髙橋　専門分野を深く学ぶことに加え、予測不能な時代にあっても柔軟な対応をとれる知的瞬発力を養って欲しいと思います。自ら学び続ける積極性と幅広い教養がそれを可能にします。工学はイノベーションを通して時代を変える力を持っています。自分が未来をデザインする技術者になるという気概を持って貪欲に学んでください。

―休日の過ごし方は？

髙橋　最近は子ども達も自分の時間を優先するようになってきた（付き合ってくれなくなった）ので、もっぱら妻とのんびりドライブしたり読書をしたり…といった感じです。

髙橋先生のおすすめの本
「サピエンス全史」ユヴァル・ノア・ハラリ著（河出書房新社）

キャリア支援センターINFORMATION

新型コロナウイルスと求人

【求人数はさほど変化せず】

厚生労働省が7月31日に発表した有効求人倍率は1・11倍となり、前月から0・09ポイント落ち込んだという発表がありましたが、本学に届いている求人数は前年同時期と比較しても、さほど変化はありません。旅行・観光などに関わる企業は採用を見送っていますが、それ以外の業界では採用意欲は高いままです。というのも、ここ数年の売り手市場の影響もあり、思うような採用活動ができていない企業がまだまだあるためです。

【就職活動への影響】

新型コロナウイルスの影響で、学生を一か所に集めることができなくなったことで、就職活動にも大きな変化がありました。そのひとつがインターネットを利用した企業説明会・面接です。webを利用した企業説明会は、自宅で視聴することができるため、いままでのような、スーツを着込み、交通機関を利用して会場に行く手間と費用が省けるようになりました。首都圏本社の企業や人気企業を希望する学生にとっては喜ばしいことだと思います。また、顔を見せる必要がないため、気軽に質問できるということも就活生にとってメリットになりました。

【今後】

新型コロナウイルスは日本の経済に大きな影響を与えてしまったので、今後、民間・公務員問わず就職環境にも必ず影響は出ます。そしてそれがいつ、どのような形で顕在化するかは全く予想できません。

また、今年から経団連が就活ルールを撤廃したことに伴い、企業は横並びで採用活動する必要がなくなりました。企業が独自に採用、選考のスケジュールを設定できるようになったということです。いままでのように、3年生の3月から日本の企業が一斉に採用活動をスタートさせるとは考えづらいです。インターンシップなどを経て、採用試験に誘導することも、これからは増えていくかもしれません。1・2年生に内定を出した企業もあります。先輩方の就職活動がそのまま通用しない時代になっていきます。「周囲が始めたから自分もなんとなく就活する」というような姿勢でいると取り残されるかもしれません。世の中で起こっていることが「他人事」ではなく「自分に関わる事」として捉え、情報感度を高めてほしいです。

2020年度卒向け 10月合同企業説明会
10月17日(土)予定
場所 北海商科大学
※新型コロナウイルス感染症の影響により、中止する場合があります。

2021年度卒（現3年生）　就職支援スケジュール

学年	月	学内行事	民間希望者 一般的な流れ	民間希望者 主な行事	公務員希望者
1年生				キャリアガイダンス	
2年生	10月				2年生対象公務員ガイダンス
2年生	3月	教務ガイダンス			
3年生	4月	授業開始		第1回就職ガイダンス	第1回公務員ガイダンス
				資格取得講座ガイダンス・講座開始	
				インターンシップガイダンス	
				GPS-Academic受検（※6月末まで延長）	
	5月				有料公務員講座開始（～4月）
				GPS-Academicフォローガイダンス	
				学園インターンシッププログラム（GIP）開始	
	6月		自己分析の開始・就職情報サイトへの登録	第2回就職・公務員ガイダンス（就活ハンドブック配布、ミナトコムへの登録）	
	7月	定期試験	インターンシップへの応募・準備		
	8月	夏期休業	夏季インターンシップ	学園インターンシッププログラム（GIP）派遣	
	9月			第3回就職・公務員ガイダンス（進路登録カード配布）	
	10月	十月祭	業界・職種研究開始	進路登録カード提出（全員）	
				就活講座開始	
	11月			第4回就職ガイダンス・就職講演会	学内官庁説明会
				筆記試験（SPI）対策講座	
				個人面談（全員）	

（6月～11月：第一期 準備期）

学年	月	学内行事	民間希望者 一般的な流れ	民間希望者 主な行事	公務員希望者
3年生	12月		冬季インターンシップ（～2月）	学内業界研究会、学内OB・OG訪問	
	1月	定期試験		面接トレーニング開始	
	2月	入学試験		第5回就職ガイダンス	第4回公務員ガイダンス
					公務員模擬試験開始（2月～4月）
	3月	教務ガイダンス	企業説明会・エントリースタート 入社試験スタート	学内合同企業説明会①	各種公務員試験願書配布開始
4年生	4月	授業開始	筆記試験・エントリーシート提出ピーク 内々定出し開始		公務員直前ガイダンス
	5月				本試験（筆記）スタート
					面接・面接カード対策ガイダンス 模擬面接開始
	6月		面接・選考ピーク 内々定出しピーク	第6回就職ガイダンス	官庁別2次対策ガイダンス
				学内合同企業説明会②	
	7月	定期試験			
	8月	夏期休業		学内合同企業説明会③	
	9月	卒業研究本格化			
	10月	十月祭	内定式	就職活動状況調査・未内定学生への支援開始	
				特別就職ガイダンス（未内定者向け）	
				学内合同企業説明会④	
	11月				次年度に向けての公務員ガイダンス

（12月～2月：第一期 準備期／3月～5月：第二期 エントリー期／6月～11月：第三期 選考期）

※上記以外に、ミナトコムジュニア・公務員試験アドバイザーによる後輩への支援を実施
・ミナトコムジュニア…民間企業から内定を得た4年生による民間企業希望者向けアドバイザー
・公務員試験アドバイザー…公務員試験に合格した4年生による公務員希望者向けアドバイザー

WEB出前講義（ZOOMを活用したリアルタイム配信講義）一覧

社会科学系	経済学分野	「自動車と正しくつきあうために」	経済学部　浅妻裕教授
		「人間らしい働き方を実現するために ――若者の雇用・労働のいま」 「仕事で困ったときにはどうする？ ――若者とワーク・ルールそしてユニオン」 「女性差別なんてもうムカシの話？ ――女性の労働と男女の生き方を考える」	経済学部　川村雅則教授
		「ジェンダーと労働、社会保障」	経済学部　中囿桐代教授
		「野菜の流通と産地づくり」	経済学部　宮入隆教授
		「ゲームを通じて合理性と 経済学の関係を考えよう」 「うそつきは泥棒のはじまり？ それとも先生のはじまり？」	経済学部　佐藤敦紘准教授
	経営学分野	「あなたはユニクロと しまむらの違いがわかりますか?!」 「コカ・コーラの強さのヒ・ミ・ツを教えます!!」 「ヒット商品はいかに生み出されるのか?!」 「アマゾンのここがスゴイ!!」	経営学部　今野喜文教授
		「グローバル企業では どのような英語が使われているの？」 「海外商談会の最前線」 「海外勤務・海外駐在」	経営学部　内藤永教授
		「スポーツだってマーケティング」 「ヒット商品の作り方をみんなで考えてみる」	経営学部　伊藤友章教授
		「あなたは最適な人と結婚できますか？」 ～意思決定から見る経営学の世界～	経営学部　金倫廷講師
	法学分野	「死刑存廃」 「振り込め詐欺の現状と対策」 「SNSと刑法」 「薬物犯罪とその対策」 「資格試験・公務員試験における法律学・政治学」	法学部　神元隆賢教授
		「多数決と民主主義」 「違憲審査制度と裁判所の役割」 「女性が活躍できる社会って？ ―法学の視点から考える」	法学部　館田晶子教授
	政治学分野	「NPO って何？」	法学部　樽見弘紀教授
		「『公共』を考える」	法学部　佐藤克廣教授
		「政党を知り、選挙を学ぶ」	法学部　山本健太郎教授
人文科学系	哲学分野	「キリスト教は本当に一神教か？」 「現代社会の始まりとしての第一次世界大戦」	人文学部　小柳敦史准教授
	心理学分野	「クイズや体験で学ぶ人の行動」 「人づき合いにいかせる心理学のアイデア」	経営学部　古谷嘉一郎准教授
	文学・歴史学分野	「小説のヒミツ、おしえます。 ―「顔」をキーワードに」 「芥川龍之介も太宰治も… 作家はみんな〈検閲〉をうけていた」 「あなたの手紙、開封しました。 ―北海道で行われたGHQ検閲について」	人文学部　田中綾教授
	文学分野	「すぐに使えるドイツ語30語」	経済学部　北原寛子教授
	語学分野	「英語を勉強して、そのあとどうする？」 ～英語を「使う」ということ～	経営学部　浦野研教授
		「アプリで最初の英語語彙学習」 「ＴＶドラマ・映画に学ぶ英語口語表現」 「アニメで学ぶ留学の英会話」	人文学部　田中洋也教授
自然科学系	建築学分野	「まちを観察してみよう」 「建築学科学生による空き家再生」 「まちづくり発祥の地北海道」	工学部　岡本浩一教授
		「環境にやさしい建物とまちづくり」	工学部　小柳秀光教授
	情報工学分野	「サイエンティフィック ビジュアリゼーションの入り口」 「コード化そして冗長化の役割 ～コード化理論の基本」 「ＩｏＴとモノづくりの発展」	工学部　菊地慶仁教授
		「オノマトペはやさしくてむずかしい」 「人工知能は人の言葉を理解しているのか？」	工学部　内田ゆず准教授
	電子工学・情報工学分野	「声が出る仕組み」	工学部　元木邦俊教授
	環境生物学分野	「あなたも参加できるシマフクロウ見守り活動」	工学部　早矢仕有子教授
	天文学分野	「宇宙に生命の存在する環境をさがす」 「ブラックホールを探る」	工学部　岡崎敦男教授
	数学	「非可換な数理」	工学部　船川大樹講師

入試 INFORMATION

WEB特設サイト

本学ではコロナウイルス感染拡大を防ぐため、今年6月と7月に開催を予定していましたオープンキャンパスは中止し9月のオープンキャンパスもＷｅｂを使って行うこととなりました。また、進学相談会、説明会が少しずつ行われるようになってきましたが、例年と比べて機会が少ない状況です。

こうしたことから、少しでも本学のことをお伝えできるものとしてＷｅｂ特設サイトを開設いたしました。Ｗｅｂオープンキャンパスは1日だけの開催ですが、特設サイトは継続的に閲覧が可能で、コンテンツも、より厚みを持たせたものとし動画を定期的にアップする等、既存の本学Ｗｅｂページとは異なるものとして充実させていきます。

コンテンツ撮影の様子

WEBオープンキャンパス ※対面式での実施はいたしません。

開催日 9月27日（日）

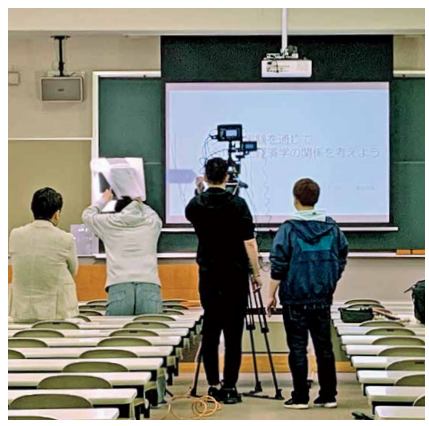
2部オープンキャンパスの開催内容を盛り込んで実施いたします。

詳細は本学ホームページをごらん下さい。

WEB出前講義

出前講義は、各高校に本学教員がお邪魔して、高校生のみなさんが興味を持てるテーマをわかりやすく講義し、大学講義の雰囲気を教室で感じていただくことを目的としています。

コロナウイルス感染拡大を防ぐため、昨年までと同じように出前講義を実施することが難しい状況もあるなか、通常の形とあわせて、専用に製作した動画（ＤＶＤ）の貸し出しやオンラインを活用したリアルタイムでの配信を、一部の出前講義で実施しています。何かと不十分な点があるとは思いますが、ぜひご活用くださいますようご案内いたします。



出前講義撮影準備中

出前講義動画（ＤＶＤ）一覧

＊各動画時間は30分～ 50分

社会科学系	経済学分野	「ゲームを通じて合理性と経済学の関係を考えよう」	経済学部　佐藤敦紘准教授
		「地域の資源 地域の経済」	経済学部　早尻正宏准教授
	経営学分野	「コカ・コーラの強さのヒ・ミ・ツを教えます!!」	経営学部　今野喜文教授
		「情報革命の時代に求められるコミュニケーションスキル：学校英語を学ぶ意義」	経営学部　内藤永教授
	心理学分野	「クイズや体験で学ぶ人の行動」	経営学部　古谷嘉一郎准教授
	法学分野	「SNSと刑法」	法学部　神元隆賢教授
	政治学分野	「総理大臣は強いのか？」	法学部　山本健太郎教授
人文科学系	文学・歴史学分野	「小説のヒミツ、おしえます。―「顔」をキーワードに」	人文学部　田中綾教授
	文学分野	「英語で文学を楽しむ」	人文学部　森川慎也准教授
自然科学系	建築分野	「人が活き活きとする環境にやさしい建物とまちづくり」	工学部　小柳秀光教授
	電子工学・情報工学分野	「声が出る仕組み」	工学部　元木邦俊教授
	天文学分野	「宇宙に生命の存在する環境をさがす」	工学部　岡崎敦男教授
	社会環境工学分野	「なぜ三角形は強いのか：橋が力を支える仕組みとペーパートラス橋の実験」	工学部　金澤健講師
	情報工学分野	「Webブラウザではじめるコンピュータグラフィックス」	工学部　長谷川大准教授